

宮城いきいき便り

学びへの興味は尽きず

宮城いきいき学園入学式

シニアの学びの場と者の生きがいづくりを
して、生涯学習や高齢 支援し、地域の担い手



はつらつと式に出席した入学生ら

を育成する「宮城いき
いき学園」の入学式が
4月、仙台市青葉区の
宮城県庁講堂で開かれ
た。

本年度の入学生は仙
南、大崎、石巻、気仙沼、
本吉、登米・栗原の各
校合わせて144人、
入学を歓迎する在校生
らを含め、約350人
が出席した。
式に先立ち、村井嘉浩
知事による「宮城県が
取り組む創造的な復興
について」と題した記
念講演があり、出席者
は熱心に聴き入った。
その後の入学式では、



スライドを用いながら講演する村井知事

入学生を代表し、登米
67・3歳で、最高齢は
と語った。
入学生の平均年齢は
校では本年度の学園生
活がスタートした。



入学生代表の大河原さん(左)と鈴木会長

栗原校の大河原克子さ
んが「社会保険の負担
が増える一方で給付が
減っている中、学園生
活を通じ心身ともに健
康であることが、ささ
やかな社会貢献の一步
も入学した。
入学式を皮切りに、各
校では本年度の学園生
活がスタートした。

花との出合いが楽しみ

華道家元池坊宮城支部長 樋口富子さん

仙台市青葉区中央の 月2回、生け花教室を
ビルで、いきいきSU 主宰している。教室は
Nクラブの会員向けに 受講料が安く、気軽に



樋口さんの弟子の生け花作品 (SUNクラブ文化祭にて)

生け花が楽しめる人
気だ。
若い頃、会社に生け
花のクラブがあり「あ
なたもやってみたら」
と同僚に誘われて始め
た。定年退職後、師匠
が高齢で引退する時に
後を継いだ。
外からは順風に見え
るが「弟子は師匠に付
くもの。初めは弟子が
集まらず、教室の使用
料も払えずに苦しかった。
石の上にも三年の
気持で頑張った」と
振り返る。
その後SUNクラブ
のサークル紹介や仙台
三越での発表会を通じ



分かりやすく指導する樋口さん(左)

徐々に弟子が増え、現
在は約20人を数える。
「教室ではまず基本を
教え、次に弟子の個性
に合わせて能力を引き
出すようにしている。
才能が突然開花するこ
とがあるので、決して
押し付けず、私が元氣
なうちに独立してほし
い」との思いを込めて
指導する。
「人に技術を教えるの
は難しく、技術がなけ
れば教えられないので、
自分の勉強のために教

てから、相手の顔を見
て話すようになった」
最近は少子高齢化で、
生け花や茶を習う人が
減っている。弟子が増え
ることを願いつつ「私は
花が大好きで、花をス
ケッチしている時が一
番いきいきとする。皆
さんも自分のやりたい
ことに思いっきり打ち
込んでみたら」と話す。
仙台市青葉区角五郎
の自宅でも教室を開い
ている。「庭に好きな花
をいっぱい植えたいが、
狭くて」と苦笑いしな
がらも「お花屋さん
新しい品種の花が増え
ると、名前を調べるの
が楽しみ。いつまでも
モチベーションを持ち
ながら花との出合いを
続けていきたい」と熱
く語った。